

(事後評価)

センハウシ

仙法志地区  
直轄特定漁港漁場整備事業

完了後の評価(事後評価)結果準備書説明資料

令和6年度  
北海道開発局

## 目 次

1. 地区の概要	.....	3
2. 事業概要	.....	5
(1)事業の目的	.....	5
3. 効果等の把握	.....	9
(1)費用対効果分析の算定基礎となった要因変化	.....	9
(2)事業効果の発現状況	.....	10
(3)事業により整備された施設の管理状況	.....	14
(4)事業実施による環境の変化	.....	14
(5)社会経済情勢の変化	.....	14
(6)今後の課題	.....	14
(7)事業の投資効果	.....	15
4. 総合評価	.....	17

# 1.地区の概要

仙法志漁港は、北海道利尻島の南側に位置する第4種漁港(昭和26年6月29日指定)です。

本漁港の周辺海域は、日本有数の好漁場である武蔵堆を近傍に控え、リシリコンブ・エゾバフンウニといった知名度の高い水産物を有しています。島内漁業生産の2~3割を占める地域沿岸漁業の生産拠点であるとともに、周辺海域で操業する漁船の避難拠点として重要な役割を担っています。

仙法志地区



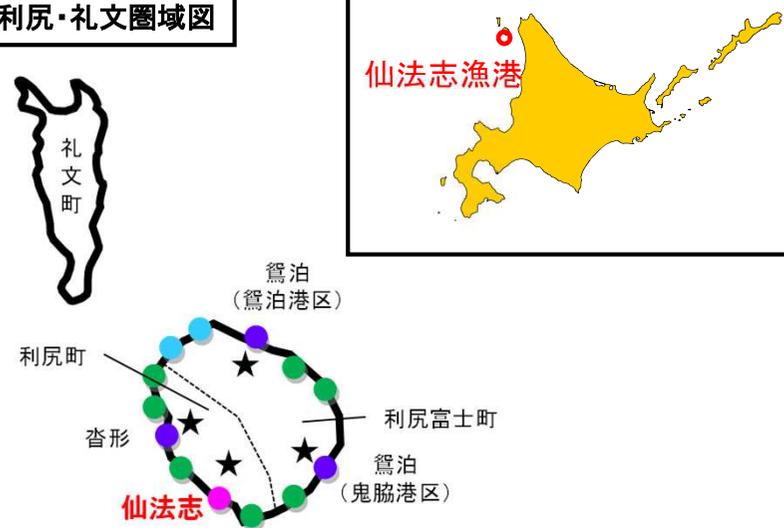
ホッケ巻き網船陸揚げ状況



養殖コンブ陸揚作業状況

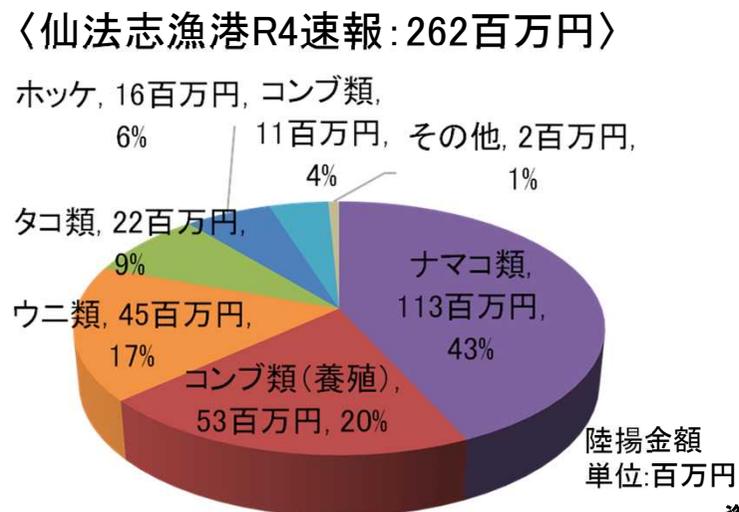
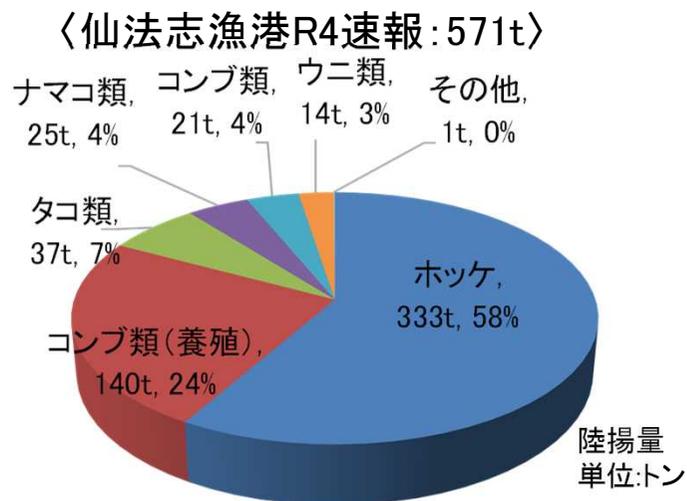
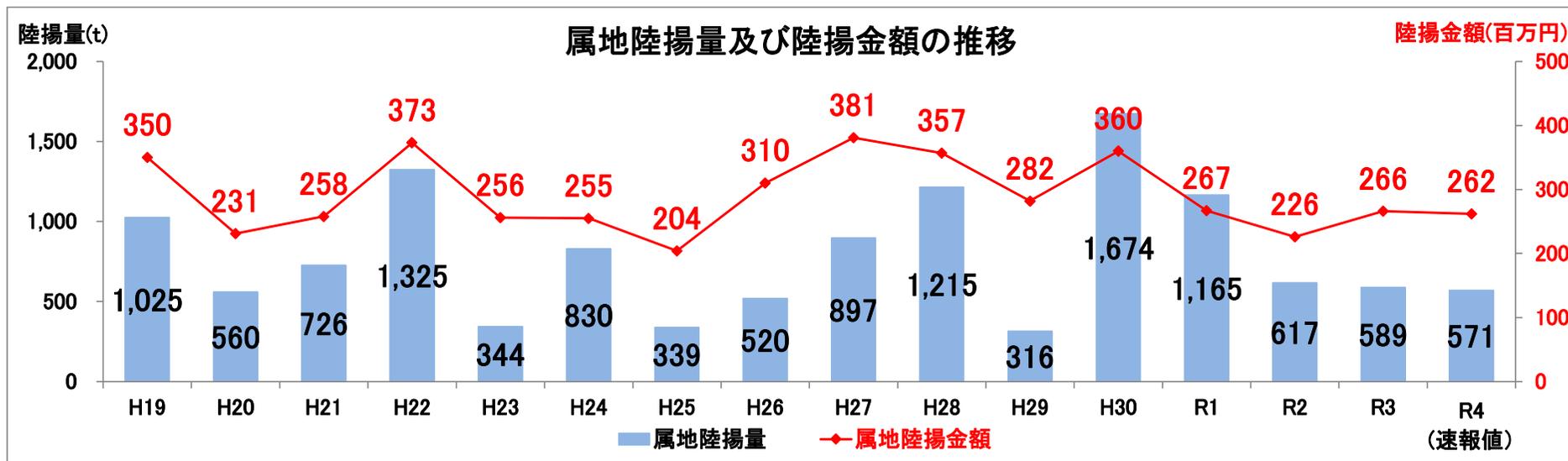


利尻・礼文圏域図



# 漁港の港勢等

- ・仙法志漁港では、ホッケ・コンブ類が陸揚量全体の8割程度を占めています。
- ・陸揚量は600トン前後、陸揚金額は3億円前後を推移しています。



## 2.事業概要

### (1)事業の目的

仙法志漁港が抱える諸問題を解決するため、下記の対策を実施しました。

事業費：45.6億円

事業期間：平成19年度～平成30年度

1)港内静穏度・防風対策(防波堤整備)

2)衛生管理対策(屋根施設)

3)漁業活動の安全性向上・効率化  
(岸壁・道路整備等)

- 港内静穏度・防風対策(防波堤整備)  
①中防波堤、②中防波堤(改良)、③南防波堤(改良)
- 衛生管理対策(屋根施設)  
⑦-3.0m岸壁(改良)
- 漁業活動の安全性向上・効率化(岸壁・道路整備等)  
④西護岸(改良)、⑤-3.5m泊地、⑥-3.5m岸壁(改良)、  
⑧-3.0m岸壁(改良)、⑨船揚場(改良)、⑩船揚場、  
⑪道路、⑫用地(改良)

整備前



整備内容



## 1) 港内静穏度・防風対策(防波堤整備)

外郭施設の整備が進んでおらず、港内の静穏性が悪く、漁業活動に支障を来す状況にありました。また、冬期間には強風が吹くため、漁業者の作業環境は厳しく、改善が要望されていました。このため、防波堤や防風柵の整備により、荒天時における港内静穏度を確保し、漁船の被害防止や避難船の受入れなどを可能とすることで、漁業活動の安全性向上を図ることとしました。



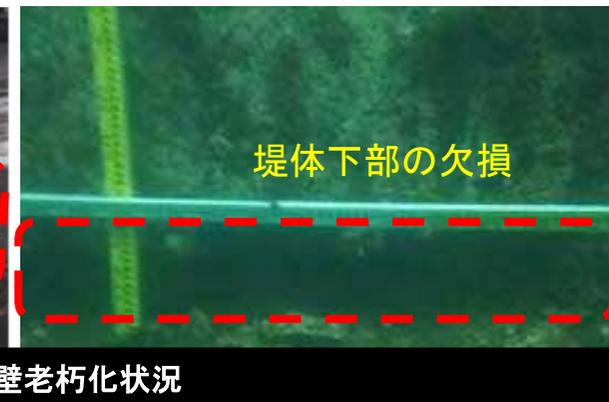
## 2) 衛生管理対策(屋根施設)

陸揚げ作業は野天で行われており、直射日光や鳥糞、雨、異物混入等による水産物の品質低下が課題となっていました。このため、屋根付き岸壁の整備により、衛生管理体制の構築による魚価の安定化及び効率的な作業環境の確保を図ることとしました。



### 3) 漁業活動の安全性向上・効率化

船揚場や岸壁の老朽化が進行し、非効率な作業を余儀なくされており、漁業活動に支障が生じておりました。このため、船揚場や岸壁等の老朽化改良整備により、漁業活動の安全性向上及び効率化を図ることとしました。

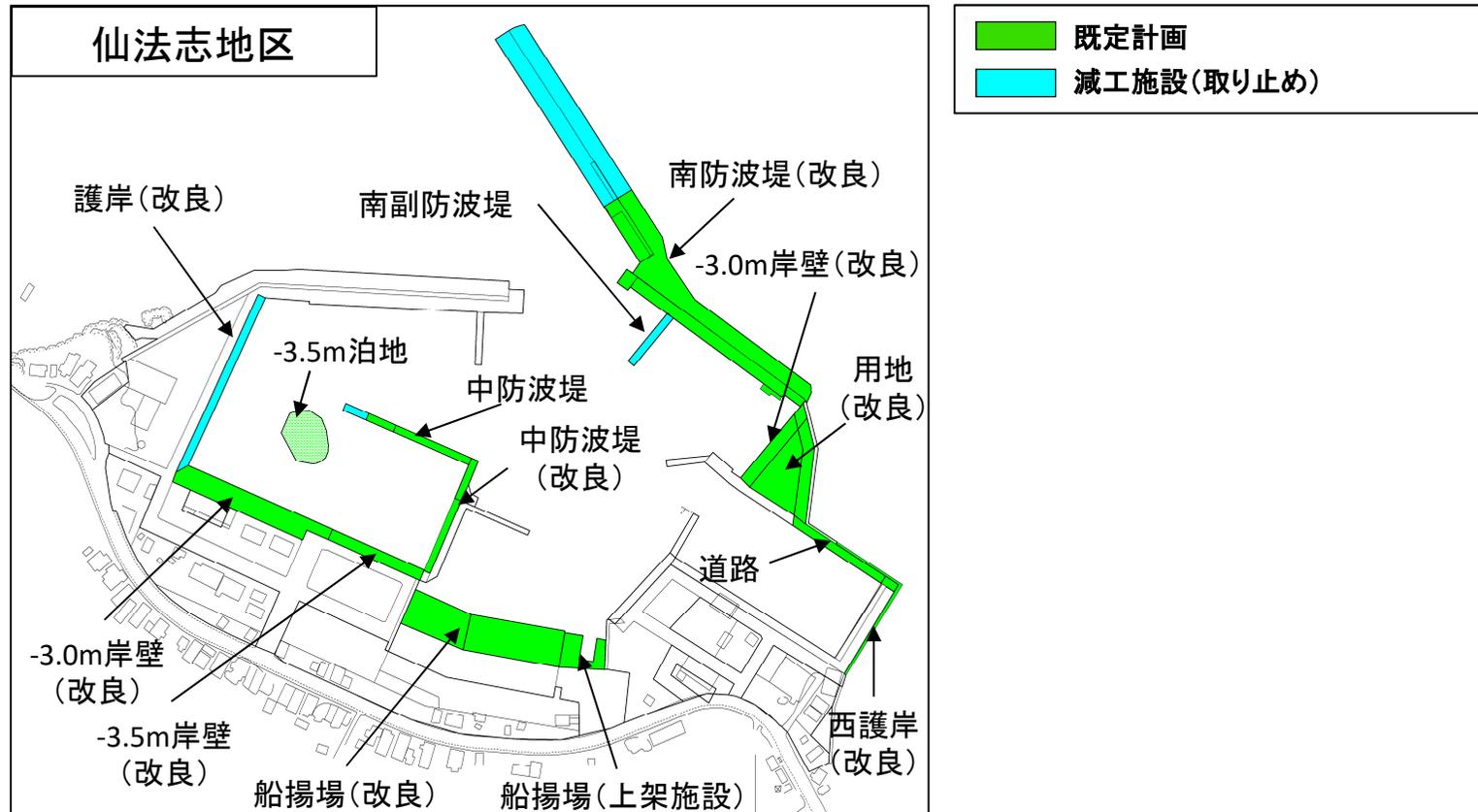


-3.0m岸壁老朽化状況

# 3.効果等の把握

## (1)費用対効果分析の算定基礎となった要因変化

### 【事業計画の変更の内容】



### 【計画事業費・事業期間の変更】

	前回評価(H25期中評価)	今回評価(R6完了後の評価)	変更内容
事業費	45.4億円	45.6億円	0.2億円増
整備期間	平成19年度～平成30年度	平成19年度～平成30年度	変更なし

## (2) 事業効果の発現状況

### 1) 定量的な効果

#### ① 水産物生産コストの削減効果事例

防波堤や防風柵整備などにより、荒天時の警戒作業及び見回り作業に要する時間が低減されるとともに、漁船の損傷被害等が軽減され、漁業活動の安全性向上が図られました。

整備前	整備後
 <p>防波堤からの越波状況</p>  <p>漁船損傷状況</p>	 <p>嵩上済⇒越波無し</p> <p>嵩上げによる越波防止</p>
<p>■ 利用者の声 (漁港利用者) 《ホッケ巻網・コンブ・ウニ漁業者より》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 南防波堤の嵩上げや中防波堤の整備により、港内静穏度が向上し、漁船の損傷が軽減した。</li><li>・ 船体動揺が緩和され、荒天時の見回りが削減された。</li><li>・ 防風柵の整備により、漁具等の飛散が無くなり、強風下でも作業が可能になった。</li></ul>	 <p>安全係留</p> <p>荒天時の見回り回数 ・ 作業時間</p> <p>整備前 回数：3回/日 時間：2.5時間/日</p> <p>↓</p> <p>整備後 回数：1回/日 時間：0.5時間/日</p> <p>※ 2回の見回り短縮 ※ 2時間の作業短縮</p>

水産物生産コストの削減効果  
(便益:66百万円/年)

## ②漁獲物付加価値化の効果事例

屋根付き岸壁の整備により、水産物の陸揚げから出荷作業までの作業環境が改善されるとともに、異物混入防止や直射日光遮断により、水産物の品質が保持されました。

### 整備前



野天での作業状況



野天での作業状況

### 整備後



屋根施設利用状況



屋根施設利用状況



屋根施設利用状況

### ■利用者の声（漁港利用者）

《ホッケ巻網漁業者より》

- ・屋根付き岸壁の整備により、漁獲物の品質が向上した。また、雨風が防げるため、作業環境が改善した。



漁獲物付加価値化の効果(便益:2百万円/年)

### ③避難・救助・災害対策効果事例

防波堤や防風柵整備により、荒天時の安全避難水域が確保され、避難漁船の受入体制を構築しました。

#### 整備前



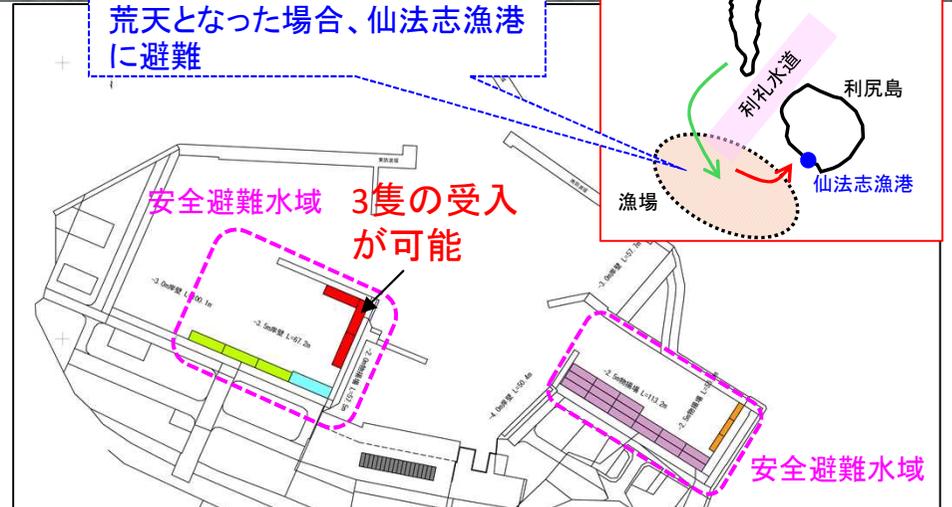
■利用者の声 (漁港利用者)  
 <<ホッケ巻網・コンブ・ウニ漁業者より>>  
 ・荒天時の静穏度が向上し、漁船の安全係留に繋がった。

#### 整備後

#### 係留状況



利尻島南部の漁場で作業時に荒天となった場合、仙法志漁港に避難



道内各地(礼文、杓形、鬼脇、古平、清部、岩内、知来別、猿払)所属漁船からの避難実績有り

漁船の損傷・人的被害の回避効果  
 (便益:282百万円/年)

## 2) 定性的な効果

### ■ 漁業と観光との連携による都市交流機能の向上に伴う地域振興

漁港における漁業活動の効率化や衛生管理の推進により、水産物の水産加工業への安定供給や直売所での購買など、地元産業への経済波及効果が確認されるとともに、漁業体験ができる「神居海岸パーク」の利用や「利尻浮島まつり」の会場として仙法志漁港に700人が集まる等、都市交流機能の向上と地域振興への貢献を果たしています。



利尻島観光ポータルサイトHP



利尻漁業協同組合HP

### (3) 事業により整備された施設の管理状況

本事業により整備された施設は、漁港管理者である北海道に管理委託等を行い、適正に漁港の維持、保全、運営その他の漁港の維持管理を行っています。

### (4) 事業実施による環境の変化

騒音、振動、水質汚濁等の環境への影響を配慮して施工が行われており、事業実施による環境の変化は生じていません。

### (5) 社会経済情勢の変化

主要魚種の不漁が続き、生産量は低迷しているものの、磯根漁業の生産額が安定しており、漁業経営の安定化が図られています。また、利尻町では、新規就業者に対して報奨金を支給する取組を行ったり、北海道漁業就業支援フェアに毎年参加したり、新規就業者に対して漁船や船外機を貸し出す取組や燃料チケットを支給する取組を行っており、近年も毎年1～2名の新規就業実績があることから、後継者が確保されている状況にあります。

### (6) 今後の課題

本事業により、小型船との混雑利用が解消され、静穏度確保により避難港としての安全性が確保されました。また、衛生管理対策により漁獲物の付加価値化が図られた他、船揚場の整備により、漁業活動の効率化に繋がりました。今後は、登録漁船数等の推移を見ながら、施設の機能保全等を適切に行っていく必要があります。

## (7) 事業の投資効果

①条件 基準年度：令和6年度 供用期間：50年

②費用便益比の算定

### 総費用(単純合計)

整備施設	数量	事業費 (億円)
中防波堤	72.0 m	3.7
中防波堤(改良)	80.0 m	1.6
南防波堤(改良)	186.0 m	19.8
南副防波堤	1 式	0.1
西護岸(改良)	124.0 m	2.3
-3.5m泊地	1,000.0 m <sup>2</sup>	0.1
-3.5m岸壁(改良)	67.2 m	2.7
-3.0m岸壁(改良)	157.8 m	8.2
船揚場(改良)	100.0 m	0.8
船揚場	1 式	5.1
道路	138.4 m	1.0
用地(改良)	980.0 m <sup>2</sup>	0.1
合計		45.6

### 総便益(単純合計)

便益内容	便益額 (億円)
水産物生産性コストの削減効果	29.8
漁獲物付加価値化の効果	1.0
漁業就業者の労働環境改善効果	0.2
避難・救助・災害対策効果	126.6
合計	157.5

※端数処理のため、各項目の和は必ずしも合計とはならない

### 総費用(現在価値化後)

総費用(C)	93.3億円
--------	--------

$C = \sum(\text{社会的割引率} \times \text{デフレーター} \times \text{各年費用})$

### 総便益(現在価値化後)

総便益(B)	111.6億円
--------	---------

$B = \sum(\text{社会的割引率} \times \text{各年便益})$

・社会的割引率 =  $1 / (1.04)^n$   
ここに、nは基準年(R6)からの経過年数。

算定結果

費用便益比(CBR)	$B/C = \frac{\text{便益の現在価値(B)}}{\text{費用の現在価値(C)}} = \frac{111.6}{93.3} = 1.20$
------------	---

《参考》比較結果(社会的割引率)

	社会的割引率1%	社会的割引率2%
費用便益比(B/C)	2.07	1.70

### ③評価結果

		前回評価 (H25期中評価)	今回評価 (R6完了後評価)	備考
事業費(億円)		45.4	45.6	維持管理費除く
整備期間		平成19年度～ 平成30年度	平成19年度～ 平成30年度	
年間便益算 定の根拠 データ	水産物生産コストの削減 効果	71隻 (115百万円/年)	40隻 (66百万円/年)	警戒等作業の対象隻数
	漁獲物付加価値化の効果	175百万円 (18百万円/年)	39百万円 (2百万円/年)	年間陸揚金額
	漁業就業者の労働環境 改善効果	22隻 (4.8百万円/年)	26隻 (0.4百万円/年)	防風施設利用隻数
	避難・救助・災害対策効果	5隻 (171百万円/年)	3隻 (282百万円/年)	避難実績隻数
総費用C(現在価値化後)(億円)		45.7	93.3	
総便益B(現在価値化後)(億円)		55.6	111.6	
費用便益比 (B/C)		1.22	1.20	

※年間便益算定の根拠データ項目の上段は便益の対象数量、下段は年間便益額

## 4.総合評価

本事業では、利尻・礼文圏域の流通拠点として重要な役割を担い、避難拠点として安全な漁業活動の支えとなっている仙法志漁港において、港内静穏度向上を図るための外郭施設・防風柵、水産物の品質・鮮度保持を図るための屋根付き岸壁、漁業活動の効率化・安全性向上を図るための船揚場や係留施設等の整備を行いました。

貨幣価値化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、費用便益比は1.0を超えており、経済効果についても確認されています。

また、貨幣価値化が困難な効果についても、漁港施設を活用したイベント開催や仙法志産漁獲物を活用した利尻漁業協同組合の直売所での販売、仙法志漁港に隣接する観光施設「神居海岸パーク」の利用促進など、地域振興への貢献と地域経済への波及効果が確認されています。

本事業は、仙法志漁港において漁業経営の安定及び地域経済の振興に寄与したものとなり、想定した事業効果の発現が認められ、費用対効果分析等の投資効果も確保されていることから、本案を完了後の評価結果の案としてお諮りいたします。